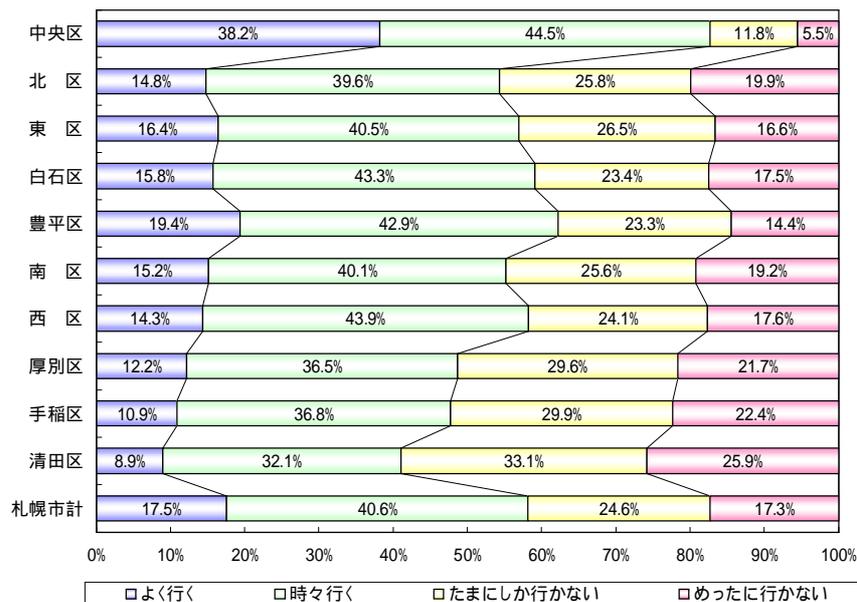


(4) 都心の求心力低下

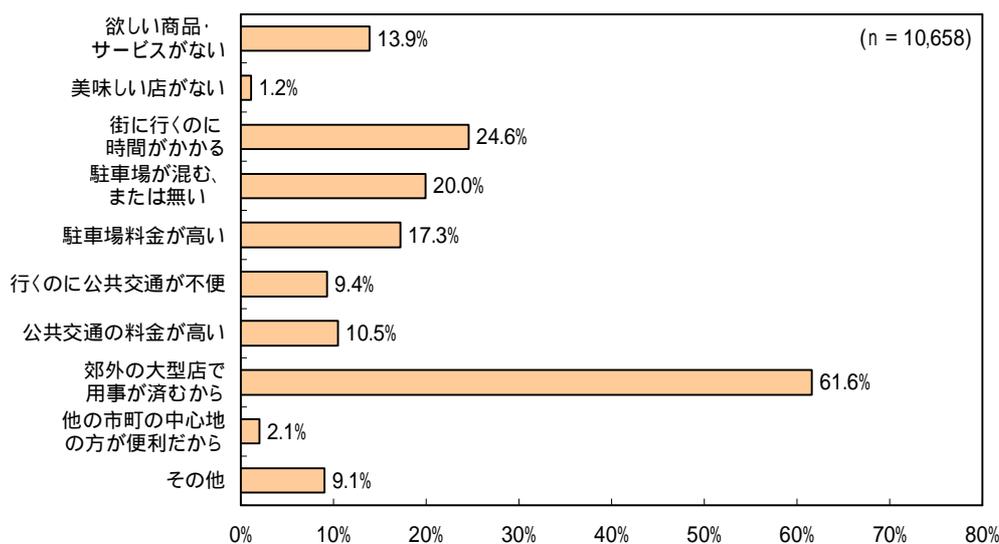
郊外大型店などの影響で都心に行かない市民も多い。

- ・ 4 割の市民が「都心にめったに行かない」「たまにしか行かない」と回答しており、行かない理由として「郊外の大型店で用事が済むから」を第一に挙げている。
- ・ 都心の魅力、求心力が低下しつつあると考えられ、都心の活力を向上するための施策が求められる。



資料：第4回道央都市圏パーソントリップ調査（2006年、ライフスタイル調査）

図 1-18 中心市街地（札幌都心部）の訪問頻度



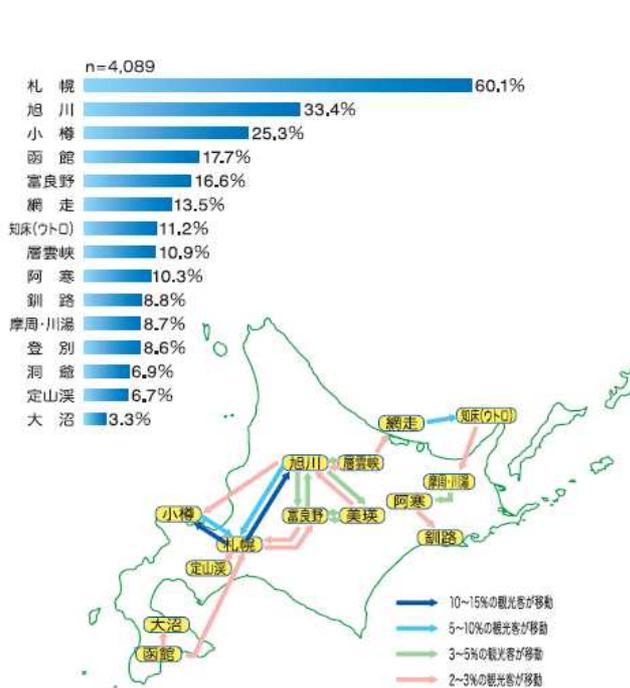
資料：第4回道央都市圏パーソントリップ調査（2006年、ライフスタイル調査）

図 1-19 中心市街地（札幌都心部）に行かない理由（複数回答）

(5) 観光産業の支援

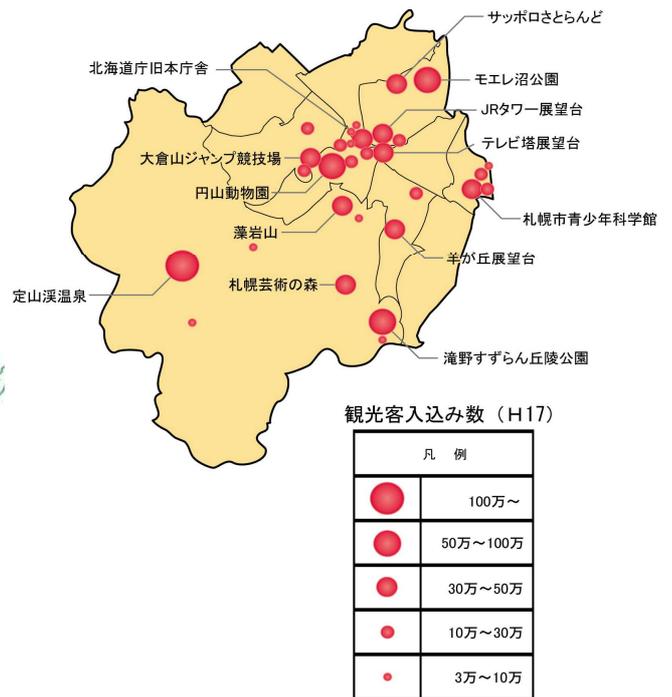
札幌市は北海道観光ルートの一環であるが、観光客の交通利便に課題あり。

- ・札幌市は北海道観光ルートの一環となっており、都市型や郊外型の観光施設に多数の観光客が訪れている。
- ・外国人客の宿泊客数が近年大幅に増加しており、札幌市での宿泊客数は道内で大きなシェアを占めている。
- ・公共交通を使つての移動も多く、観光客の利便向上などの対策が求められる。



資料：来道観光客動態調査（2007年（H19））

図 1-20 来道観光客の主要な立ち寄り観光地と観光ルート



資料：札幌市観光文化局

図 1-21 札幌市内の施設別観光入り込み数

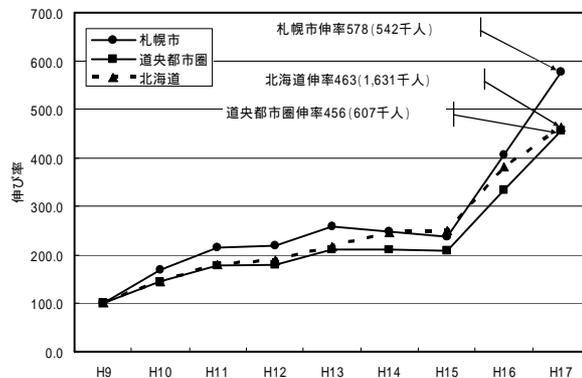
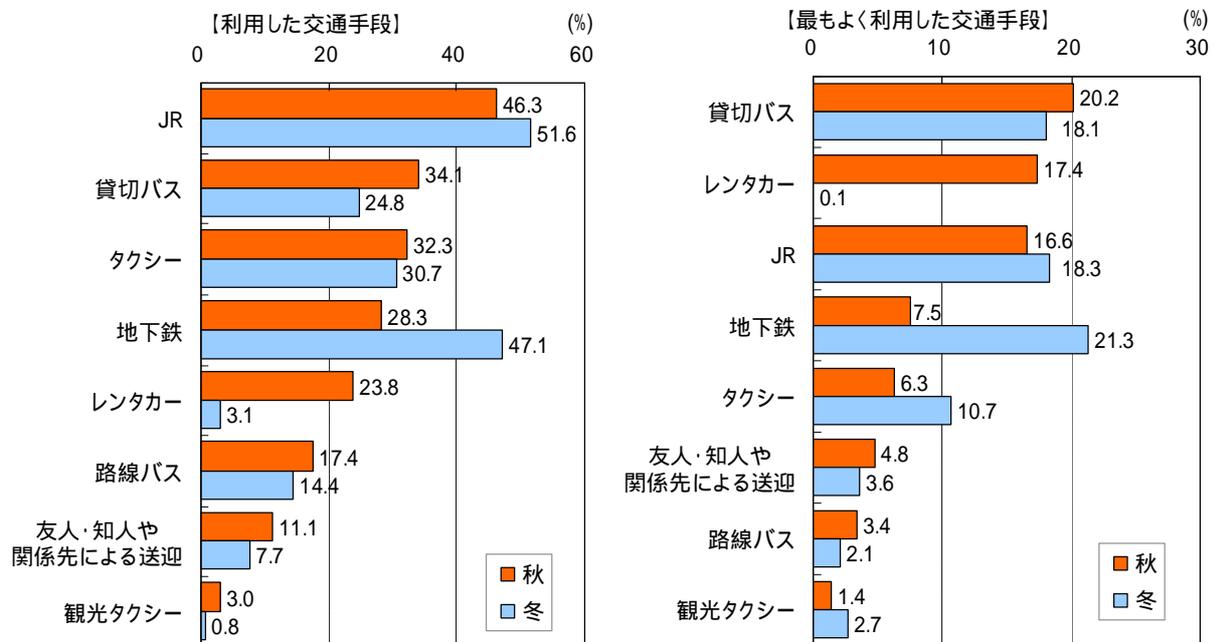
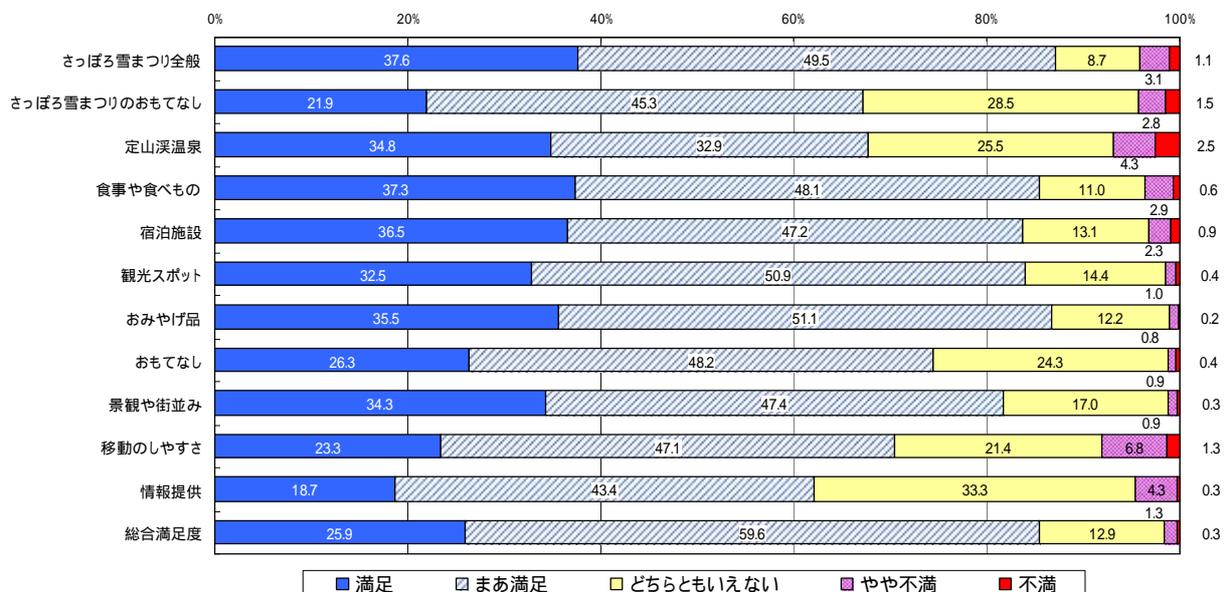


図 1-22 外国人宿泊観光客延人数の推移 資料：北海道の観光客入り込みに関する資料



資料：来札観光客満足度調査報告書（秋：2005年10月調査、冬：2009年2月）

図 1-23 来札観光客の交通手段



資料：来札観光客満足度調査報告書（冬：2009年2月） 注：無回答は除き集計

図 1-24 札幌滞在中における満足度

1-1-3 環境問題への対応

(1) 環境負荷の増加

市内の二酸化炭素排出量は増加傾向。運輸部門からの排出割合が比較的高い。

- ・札幌市内での二酸化炭素排出量は増加傾向にある。
- ・札幌市は運輸部門からの二酸化炭素排出割合が高い。
- ・二酸化炭素排出削減に向けて、交通面での取り組みが必要である。

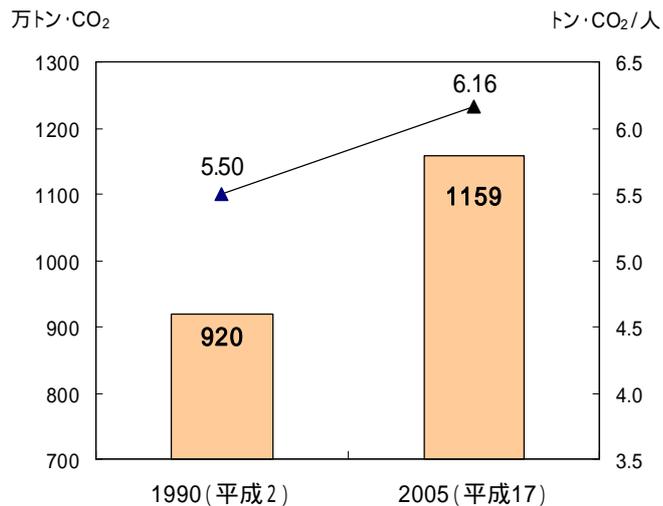
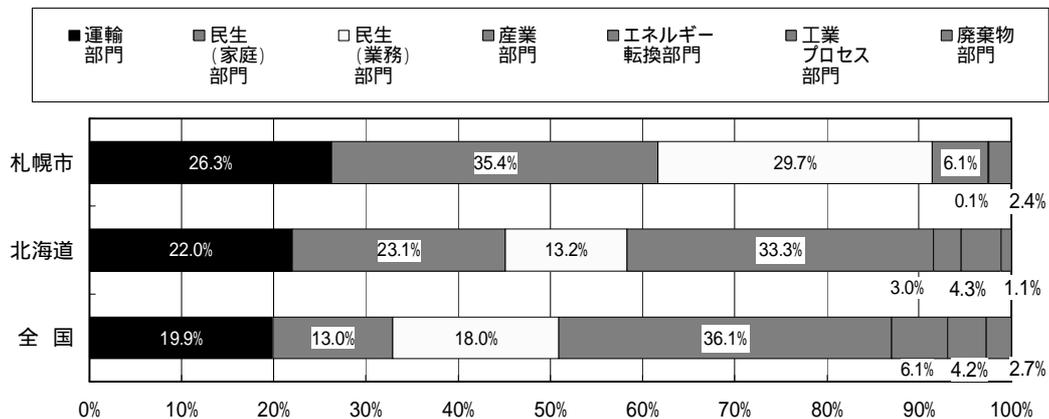


図 1-25 札幌市内の二酸化炭素排出量



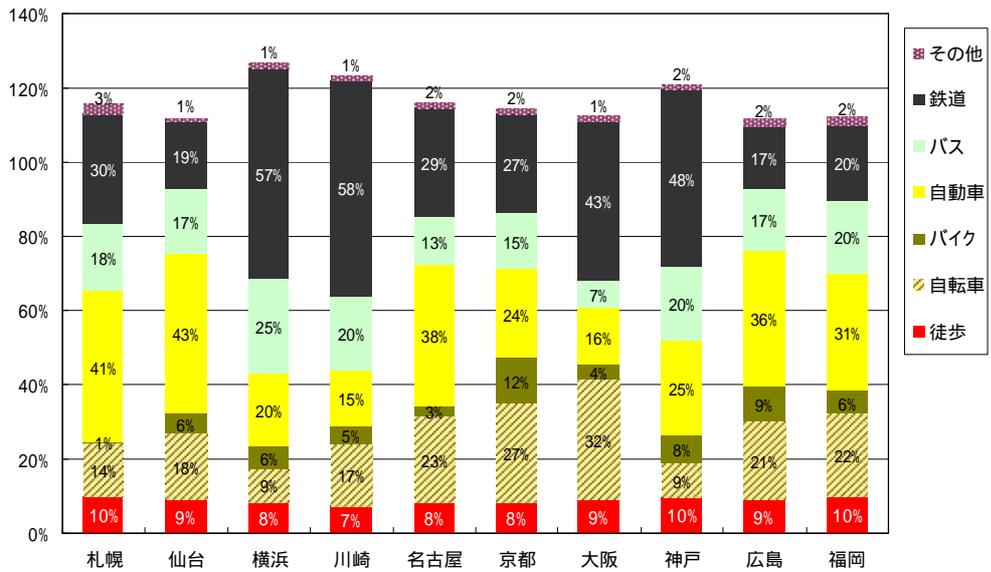
資料：札幌市環境局、北海道環境生活部、国立環境研究所（2006年度）

図 1-26 部門別の二酸化炭素（CO₂）排出量割合

(2) 環境意識と自動車利用

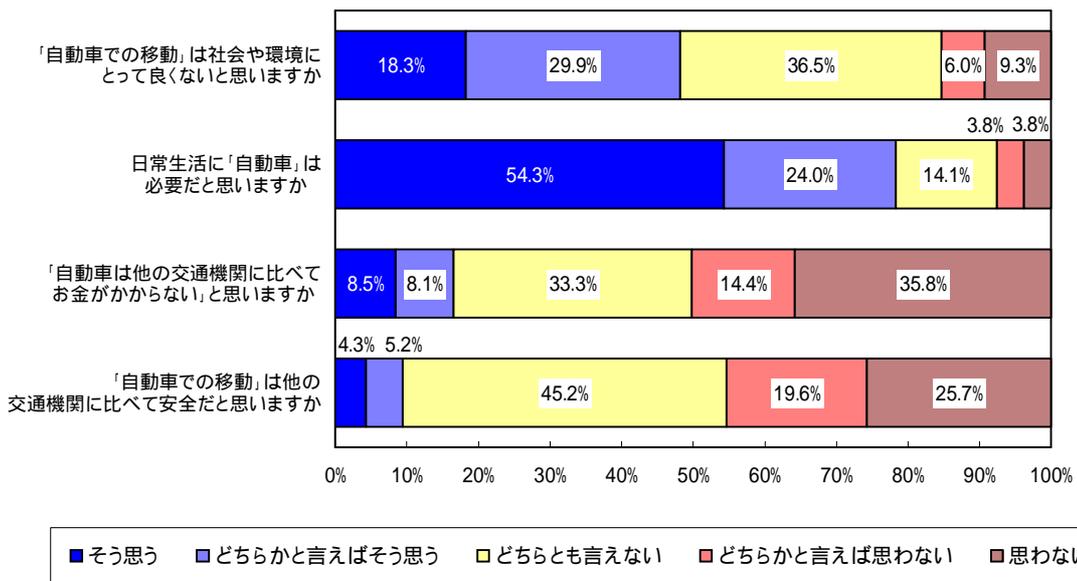
自動車の環境負荷を理解しつつも、自動車利用傾向が高い札幌市民。

- ・他都市に比べ、札幌市では通勤・通学で自動車を使う割合がやや高い。
- ・アンケート調査の結果、市民は自動車の環境面での課題や、経済性・安全性の課題も認識しているが、日常生活で自動車は必要と回答している。



資料：国勢調査（2000年（平成12年））、東京都区部を除く100万人以上都市
注：複数回答があるため合計が100%とならない。

図 1-27 通勤・通学時交通手段分担率の他都市との比較



資料：第4回道央都市圏パーソントリップ調査（ライフスタイル調査、2006年）

図 1-28 自動車に対する意識（札幌市集計）